

# 租税教育実践レポート

## わたしたちの生活と税金の働き

登米市立東郷小学校教諭 6学年 千葉 崇峰

実施年月日：令和3年6月23日 28名

### 1 実践計画・指導のねらい

児童にとって、消費税などの一部を除き、税金を身近なものと感じる機会は少ない。大切だと聞いたことはあっても、具体的なことについては、ほとんど理解していないのが実態である。そこで本実践では、税金と身近な物事とを関連付けながら扱うことによって、実感を伴って理解させる。

### 2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問 (○), 子供たちの反応 (●), 使用教材等 (□)
1	<b>国の政治の仕組みと選挙</b> ・ 政治と選挙の仕組みについて知る。また、税金が予算に基づいて使われていることを理解する。	○ <b>国会の働きについて調べましょう。</b> ● 国の法律や予算を決める役割がある。 ● 国民は選挙で代表を選ぶことで政治に参加している。選ばれた議員は予算の内容を決める役割も担っている。
2	<b>震災復興の願いを実現する政治</b> ・ 震災後の行政の取り組みについて知り、人々の生活を守り、町作りを進めるために税金が使われていることを理解する。	○ <b>震災後の国や県、市町村の取り組みについて調べましょう。</b> ● 災害対策本部が設置された。 ● 復興計画が立てられた。 ● 仮設住宅の建設やライフラインの復旧が進められた。 ● 補正予算によって、復興のために税金が使われることとなった。
3	<b>租税教室</b> ・ 登米法人会からゲストティーチャーを招き、税金についての詳しい内容について、話を聞いたり、質問したりする。	○ <b>税金が使われている施設はどこでしょう。</b> ● 学校、公園、公民館、交番、消防署・・・ ● 公共施設には税金が使われている。 ○ <b>税金がなかったら、どんな暮らしになるのでしょうか。</b> ● 学校に通えない。救急車を呼べない。困ることが多い。 ● 貧しい人は暮らせなくなる。 ● わたしたちの暮らしは税金によって支えられている。
4	<b>総合的な学習の時間 登米市の宝物をさがそう</b> ・ 「みやぎの明治村」や「登米市歴史博物館」を訪問し、地域の歴史や魅力を守り、伝えることにも税金が使われていることを知る。	○ <b>なぜこのような場所があるのか調べましょう。</b> ● 自分のふるさとの歴史を守り、受け継ぐため。 ● 自分のふるさとの魅力を、他の地域に発信するため。 ○ <b>どうやって維持されているのか考えてみましょう。</b> ● ふるさとの良さを受け継ごうという思いを持った人々が、大切にしている。 ● 地域みんなにとって大事な場所だから、税金を使って維持している。
5	<b>税金と自分達との関わりを整理しよう</b> ・ これまでの学習を振り返り、税金についての自分の捉えを絵や標語で表現する。	○ <b>「税金」がどんなものだと分かったか、自分なりに表現してみよう。</b> ● 「税に関する絵はがきコンクール」、「税に関する標語コンクール」に応募。 標語コンクール：優秀賞1名、佳作2名

### 3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

◎ 税金について理解させることができた。学習以降の様々な場面で、児童から税金との関連を意識した発言が出るようになった。◎ 税と自分の暮らしを関連付けたことで、納税することや、政治への参加意識の大切さについて関心を持たせることができた。